

## 吉野町子ども・子育て支援事業計画（案）に対するご意見・ご提案についての回答

平成27年3月6日から平成27年3月16日までの間、「吉野町子ども・子育て支援事業計画」（案）についてパブリックコメントを実施し、町民の皆様のご意見を募集しました。

その結果6人の方からご意見をいただきました。貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。いただいたご意見の概要及びご意見に対する町の考え方は次のとおりです。なお、内容が重複するものは集約し、ご意見の要旨を記載しています。

意見・提案の要旨	町の考え方（回答要旨）
<p>①妊婦健診補助や子どもの医療費の補助等、手厚い補助がありかなり助かっている部分があります。 現在、3人目を妊娠しておりまして、やはり不安と言えば経済的なものが漠然とあります。3人目以降の経済的補助等、何か明確にありましたら、もっと一世帯当たりの子どもの数が増えることに少しでもつながるように思います。</p> <p>②幼稚園・小学校・中学校と一貫したふるさと教育の大切さを感じます。</p> <p>③ふるさとを離れる若者を少しでもとどまってもらえる様、吉野町だけでなく周辺地域と協力して、雇用の増加を切望します。</p>	<p>①3人目以降のお子様の経済的補助について、平成27年度より、出産祝い金として5万円の商品券を支給することになっています。（1人目2万円、2人目3万円）また、こども園において3人目の保育料は無料となっています。※3人目の規定：〈1号認定〉満3歳から小学校3年生までの範囲 〈2号・3号認定〉0歳～小学校就学前までの範囲</p> <p>②ふるさと教育につきましては、吉野町教育・保育方針の重点課題とし、ふるさと吉野を愛し、誇りに思う子どもの育成を進めています。今後も学校間、家庭、地域と連携のもと吉野の自然や歴史文化・人材等の資源を活かしたふるさと教育を進めていきます。</p> <p>③ご意見のとおり吉野町だけでなく、周辺地域と連携をとりながら、雇用増加の取り組みを進めていきたいと考えております。</p>
<p>子どもを遊ばせる所がなく、休日は吉野町から出ることが多いです。自然豊かな吉野町ならではの遊びを考えたら他の市町村からも遊びに来やすいのではないのでしょうか？（例）森であそぼうを企画するetc…</p>	<p>子どもの遊び場・公園等の確保については、ニーズ調査でも多くの方々からご要望を頂いているため、計画書の中にも遊び場、公園の整備を今後の取組として記載しております。吉野運動公園に遊具、ミニアスレチックの設置を計画していきます。また、子どもを対象とした文化・スポーツ・レクリエーション活動など多様な体験活動の実施を考えていきます。</p>
<p>①低学年下校日に仕事でお迎えに行けないので困っています。学童を利用するほど働いている訳はないので、中学年・高学年の下校時間まで、学校内で遊ばせてくれたら助かります。</p> <p>②放課後、友達同士で遊ぶ場所がなく、もっと近くに公園とかあればいいなと思っています。</p>	<p>①学童保育の充実及び新たな児童の居場所づくりについても考えていきます。</p> <p>②公園や遊び場の確保については、ニーズ調査でも多くの方々からご要望を頂いており、計画書の中にも遊び場、公園の整備を今後の取組として記載しております。今後、重要課題として検討していきます。</p>

<p>①吉野町の安全対策として交番を増やして欲しい。空き家が多くこれからの吉野町での子育てには不安を感じます。子育てをしたいと思うような吉野町であって欲しい。</p> <p>②小学校・中学校に英会話教育の充実や中高一貫教育など特色が欲しい。</p> <p>③吉野町に住む人は、子どもは吉野町以外で住めばいいと考えている人が多いので、これからも人口減少は進むと思います。役場や公共の場で働く人を吉野町在住にすることを前提にしてほしい。吉野町には住む所が無い。</p>	<p>①地域防犯パトロールを実施し、下校時には町内放送を行っています。地域のつながりを活かし、子どもを継続して見守っていくよう啓発活動を続けていきます。</p> <p>②現在、学力課題検討会議、体力向上部会、外国語活動研究会等において、主体的な学びを身につける取り組みを進めています。今後も家庭・学校・行政が連携して学びやすい環境を整え、その取り組み状況を広く周知していきます。</p> <p>③人口減少に対する対策につきましては、就労環境・居住環境・子育て環境等の向上に向けて、町全体として取り組んでいきます。吉野町では、憲法第22条（居住・移転の自由の原則）及び多様な人材確保のため、職員の住所地の規制を設けておりません。この度頂きました「役場や公共の場で働く人を吉野町に在住すること」とのご提言は、ご意見として伺わせていただきます。なお、他市町村在住の職員については、町外行政等の取組の情報収集、実態把握等、吉野町行政をよりよく行うための貴重な人材と考えています。</p>
<p>「ひとり親の自立支援について」ひとり親が経済的に自立できたとすれば、その背景にはフルタイム・バイトかけもち等長時間労働や夜勤などの不規則勤務という現状があると思います。その上で、ひとりで家事・育児をこなさないとはいけません。悩みごとへの相談体制の充実や、ひとり親への積極的な関わりに関する対策をお願いします。</p>	<p>ひとり親家庭は本町においても増加の傾向にあります。今後は経済的援助のみならず、見守り・相談体制を整えるとともに、福祉事務所・こども家庭相談センター・奈良県スマイルセンター・母子福祉会等関係する機関・福祉団体等とも連携をはかりながら、支援の輪を広げていきたいと考えています。</p>
<p>資料の冊子が分厚く、読む気になれない。もっと完結に説明会でも開けばと思います。</p>	<p>吉野町子育て支援事業において、今後実施したい取り組みは数多くあり、本計画書はその全てを明示するものとなっております。本計画策定後に計画書冊子の発行、町ホームページの掲載にあわせ、概要版を作成し、計画の周知に努めてまいります。</p>